

会 議 報 告 書

先に開催しました令和2年度第1回当別町文化財調査審議会の内容について、下記のとおり報告いたします。

- 1 日 時 令和2年7月14日(火) 13:30～15:00
- 2 場 所 当別町役場 中会議室
- 3 出席者 鎌田会長、梅枝副会長、倉田委員、渡部委員、大口委員
本庄教育長
社会教育課：石川課長、下村係長、飯田主事
- 4 内 容
 - 1 開会
 - 2 教育長挨拶
 - 3 会長挨拶
 - 4 協議事項
 - (1) 当別町文化財指定の検討について
 - ①これまでの協議経過
 - ②当別町文化財指定候補
 - ③今後の予定
 - ・協議内容については、別紙のとおり
 - 5 その他 なし
 - 6 閉会

発言者	発言内容
鎌田会長	<p>吾妻家文書、弁華別小学校校舎は維持管理に課題があるため、今後対策を考えていく必要がある。</p> <p>また、吾妻家文書はこれまでに指定してきた文化財の多くが当別ゆかりのものであることを考えると指定するにふさわしい。</p> <p>青い目の人形エリザベス・アーンは、元々の服の管理状況が気付きである。セイウチ科骨格化石の管理状況はよい。</p> <p>伊達山遺跡出土品の管理状況も改善が急がれるようなものではないが、文化財指定することによって管理体制がシビアになると考えられる。</p> <p>何のために指定するのかということが重要である。</p>
大口委員	<p>青い目の人形エリザベス・アーンは管理状況がよいため、指定することで管理する負担が生じることはないのではないか。</p> <p>将来的には候補となっている5つ全て指定して、大事にしていきたい。</p> <p>伊達山遺跡出土品については、ケースに入っていないものが分類などがきちんとされていない状況であったかと思う。</p> <p>吾妻家文書については、開拓期についての研究は重要であり、個人的な情報が記載されているものは除くとしても指定すべきと考える。</p>
倉田委員	<p>吾妻家文書については、現在当別で保管している文書が全てではなく、岩出山に残っている分があり、それをどうするのかという問題がある。分かれているまま、当別にある分だけで指定するのか。また、適切な保管庫がないと指定したものを適切に管理できない。</p> <p>そういった課題がクリアできるなら指定すべき。</p>
渡部委員	<p>弁華別小学校校舎は、非常に貴重であり、残したい。</p> <p>現地を見に行く機会があったが、外の煙突などが壊れてきている。また、動物の害や雪害なども想定される。費用はかなりかかると思われる。</p> <p>全体を残すことが難しければ、本校舎、体育館だけは残すなども考えられる。人が集められるだけの魅力がある施設である。</p>
梅枝副委員長	<p>こういった文化財を維持管理するための施設が必要と思うが、現在の状況は。また、セイウチ科骨格化石は研究のために渡したとあるが、現在の状況は。</p>
下村係長	<p>町として文化財を維持管理することもできる複合施設について、民間の資本を活用しながら建設したい考えはあるが、現在、具体的な動きには至っていない。</p> <p>セイウチ科骨格化石について、北海道大学総合博物館に展示されており、その後特に連絡はない。</p>
梅枝副委員長	<p>弁華別小学校校舎は、北海道が文化財指定したいという意向を持っているのか。</p>
下村係長	<p>北海道の意向ではない。今後、町から北海道に対して指定の提案を行っていきたいという考えを持っている段階。</p>
大口委員	<p>道の駅のスウェーデン館はどのような施設なのか。</p>
下村係長	<p>会議室や小規模のイベントで活用されている。</p>
大口委員	<p>青い目の人形エリザベス・アーン、伊達山遺跡出土品をスウェーデン館に展示</p>

	するのはどうか。
下村係長	常設は難しいと思われる。ただ、企画展として1か月など期間を区切った展示を要望することは可能かと考える。
大口委員	図書館展示コーナーを活用できるとよい。伊達山遺跡出土品も整頓して展示できるとよい。
梅枝副委員長	2年後、現在の当別小学校校舎が使用されなくなるので、文化財、郷土資料を一括して展示し、PRできないか。
下村係長	当別小学校の利活用は今後検討していく。
鎌田会長	北広島市では、学校を活用して郷土資料を展示している例がある。
倉田委員	吾妻家文書の一般公開に関わって、現物を見せて対応することは簡単ではない。専門家でないものが扱うと劣化を進めたり破損させるリスクがある。
梅枝副委員長	弁華別小学校校舎の管理状況はどのようになっているか。
石川課長	現在は、財政課所管の町有財産となっており、小学校と中学校一括で社会福祉法人に貸付している。 小学校については、当初は障がいのある子どもの作品の展示などの構想があったようだが、現在は活用されていない状況。
渡部委員	クラウドファンディングを活用できないか。 弁華別小学校校舎の保全には、何千万円と費用がかかる。全国アピールできないか。
石川課長	クラウドファンディング、自主財源を検討する。一部を残すということについては、保存を進めていくにあたり考えられる方法の一つと思う。
渡部委員	町議員は、文化財指定についてどう考えているのか。
石川課長	過去に一般質問で、指定に向けた考えがあるかどうか、などの質問があった。
大口委員	北海道の指定がされると、財政支援がされるのか。
石川課長	必ずしも財政支援があるわけではない。
大口委員	増毛小学校の例があったが、増毛では支援を受けているのか。
下村係長	増毛小学校は北海道遺産に登録されているが、北海道遺産に登録されることによって財政支援が受けられることはない。ネームバリューがつくというもの。
鎌田会長	人口が少なくても郷土資料館、図書館が立派な市町村はあり、そういったところは教育・文化を大事にしている。しかし、当別にそういったものはない。議論も大事だが、まず環境を作らなければならない。
下村係長	環境が整い、実際に文化財指定をできるようになったとして、優先順位は付けておきたい。委員の皆様のご意見はいかがか。
鎌田会長	第一に吾妻家文書、第二に弁華別小学校校舎である。
倉田委員	吾妻家文書を文化財指定する前に、確実に環境を整えなければならない。指定した後から環境を整えるでは、途中で担当者が変わるなどしてうやむやになるケースもある。適切な保管環境を整えることが先である。
大口委員	吾妻家文書の一般公開の方法はどのようになるか。
下村係長	個人情報に記載された文書や、劣化が激しく補修が必要な文書など、を除き、

	<p>一般公開する予定。</p> <p>現物を見たい研究者もいるであろうし、現物を公開するのか、写真で公開するのか、規則等のルール制定と共に検討する。</p>
鎌田会長	<p>現物を一般公開するのはリスクが大きいと考える。</p>
大口委員	<p>自身が当別歴史ボランティアの会に加盟している関係から、非常に興味があり、公開はぜひしてほしい。</p>
石川課長	<p>現在道立文書館に訪問するなど、保存管理・公開の体制について検討しており、これから半年かけて最もよい方法に整備していく。すべて写真等のレプリカのみ公開するというやり方も内部では検討中である。</p>